

科目名	経済政策学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Policy of Economy	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	○	修得単位 2 単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	日本経済の再興と第4次産業革命への対応			
到達目標	日経新聞が読解できる。			
授業概要	アベノミクスによりデフレスパイラルからの脱却は目前に迫っている。その一方で、世界は大変革の時代を迎えようとしている。日本はその変革とは何か、そしてその変革に対応できるのだろうかを解き明かす。			
授業計画				
第1回	日本の置かれている状況把握～トランプ政権・イギリスのEU離脱、日本の外交政策の転換			
第2回	リーマンショックとは何だったのか～世界経済のバブル崩壊と日本経済の停滞			
第3回	欧米・日本などの先進国の停滞と中国・インド・ロシアなどの新興国の台頭			
第4回	円高と主要産業の国際競争力の喪失～東芝とシャープの経営破綻			
第5回	先進国による超金融緩和政策と産業構造改革～世界経済の牽引役の交代～新興国から日米へ			
第6回	中国をはじめとする新興国金融市場の脆弱性～民間企業の借入れ著増ともなうリスクと米国の利上げ			
第7回	原油価格等資源価格の下落と日本のエネルギー政策～脱炭素政策と金融市場の変化			
第8回	行き詰まる中韓経済と朝鮮半島情勢の見方～米国のアジア政策と北朝鮮の核開発と韓国の親中反米政権樹立			
第9回	第4次産業革命とは何なのか～IoT AI BD シングularityについて			
第10回	仮想通貨がもたらした金融構造の変革～ビットコインとブロックチェーン			
第11回	グローバルイノベーションと日本の科学技術政策～日本経済の複雑性			
第12回	米国の長期金利の動向～システミックリスク			
第13回	ポストアベノミクスとしての第4次産業革命～今後5年間でAIはここまで進む			
第14回	ウクライナ侵攻がもたらすロシア経済の窮乏～経済制裁と世界経済の混乱			
第15回	ポストコロナの世界経済の行方を展望する～ESGとSEGs、グリーンリカバリー			
第16回	期末試験			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと			
履修条件 受講のルール	経済の基礎的な知識を有すること			
テキスト	プリント配布			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
実務経験及び実務を活かした授業内容	日本政策投資銀行に勤務。地域開発の審査・融資・企画業務を経験。また設備投資研究所、開発総合研究所において研究・調査実務にも従事。国土交通省の地域振興アドバイザー、UR都市機構のまちづくりアドバイザーなど歴任。政投銀の地域開発研究所と連携し、ネットワークを活かした最新の情報を提供する。			

学生への  
メッセージ

安保リテラシーを高めることが喫緊の課題となりました。